

# ケース・メソッド教授法シンポジウム

## ～ ケース教材作成の意義とその効果を考える ～

「ケース・メソッド」とは、実際の出来事をケース教材として使用し、討議型授業を通じて意思決定力や実行力といった力を訓練するために有効な教育方法です。「ケース」には知識を獲得するための理論は書かれておらず、また決められた一つの答えを導き出すものでもありません。実際に起こっている具体的な出来事が事実として「教材」となることで、実践的な学習効果が得られます。この授業方法は MBA 教育に限られるものではなく、初等教育や実践を伴う幅広い学問領域においても活用の可能性があり、授業形態に応じて適切なケースを選択することが必要です。

関西 MBA ケース・メソッド研究会<sup>※</sup>では、関西地区の MBA 教育でケース・メソッドの普及とケース教育の高度化を目指すメンバーが集い、2006 年 7 月より研究会を定期的にかけており、「日本ケースセンター <http://www.casecenter.jp>」を運営する財団法人貿易研修センターとも協力しながら活動を行っています。

本シンポジウムは、参加者の皆様方にケース・メソッド教育の意義をご理解いただき、その導入に向けた足掛かりの機会として活用していただくべく開催するものです。奮ってご参加ください。

● 日時: 2009 年 2 月 14 日(土) 14:00～17:35

● 会場: 大阪経済大学 大隅キャンパス B 館 3 階(32 教室)  
大阪市東淀川区大隅 2-2-8

(地図) [http://www.osaka-ue.ac.jp/profile/access/map\\_01.html](http://www.osaka-ue.ac.jp/profile/access/map_01.html)

アクセス

- \* 阪急京都線「上新庄」駅、徒歩約 15 分
- \* 地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅、徒歩約 2 分
- \* 市バス「大阪経大前」下車すぐ

● 主催: 関西 MBA ケース・メソッド研究会  
日本ケースセンター (財団法人貿易研修センター)

<sup>※</sup> 研究会幹事: 佐藤善信 (関西学院大学経営戦略研究科教授)

プログラム・申込方法は裏面をご覧ください

## 申込方法

- 募集人数 : 120名(先着順) ※ 定員に達した時点で申し込み受付を締め切らせていただきます
- 対象者 : 教員およびケース・メソッド教育に関心のある方
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 日本ケースセンターのWEB <http://www.casecenter.jp/> からお申込みください。
- お問い合わせ : 大阪経済大学 大学院事務室 (担当:黒正)  
TEL:06-6328-2431 E-mail: [in@osaka-ue.ac.jp](mailto:in@osaka-ue.ac.jp)

## プログラム

13:30	受付
14:00 ~ 14:05	開会挨拶 大阪経済大学 経営学研究科長 二宮 正司
14:05 ~ 14:45	「いま国内で求められるケース」 ～ケースライティングの視点から～ ▶ 稲葉 エツ (財団法人貿易研修センター 人材育成部長)
14:45 ~ 15:25	「ケース教材を作成することの効用」 ▶ 佐藤 善信 (関西学院大学 経営戦略研究科 教授)
15:25 ~ 15:40	休憩
15:40 ~ 17:30	<u>パネル・ディスカッション</u> 「ケース教材作成と活用の勘所：個人的体験とその一般化」  モデレーター： ▶ 佐藤 善信 (関西学院大学 経営戦略研究科 教授) パネリスト： ▶ 太田 一樹 (大阪経済大学 経営学部 教授) ▶ 越村 惣次郎 (大阪府産業開発研究所 調査研究部) ▶ 辻村 謙一 (神戸カレッジ・オブ・ファッション副学園長) ▶ 廣芝 通生 (高槻商工会議所 中小企業相談所) ▶ 松下 隆 (大阪府産業開発研究所 調査研究部)
17:30 ~ 17:35	閉会挨拶 大阪経済大学 経営学部 教授 太田 一樹

<講演者・プログラムの内容については、事情により予告なく変更する場合がございます。>